

あなたと議会

～もっと「議会」を身近に～
議会報告会・意見交換会を開催

市政を問う
議会からあなたへ



2017
194号
2月24日発行



ユネスコ無形文化遺産登録記念「祝典」で披露された彫刻屋台



特集

議会報告会・意見交換会を平成28年11月8日から11日までの4日間9地区で実施しました。合計で321人が参加し、内訳は男性が274人(86%)女性が47人(14%)でした。意見交換会では「議会改革」と「防災」の2つのテーマで活発な意見交換が行われました。今回は、そのやりとりを抜粋してご紹介します。

～もっと「議会」を身近に～

議会報告会・意見交換会

地区別参加者数

実施日	開催地区	参加者数	男性	女性
11月8日(火)	菊 沢	71	61	10
11月8日(火)	南 摩	32	26	6
11月9日(水)	中 央	43	33	10
11月9日(水)	北押原	42	31	11
11月9日(水)	北大飼	33	32	1
11月10日(木)	東 部	37	33	4
11月10日(木)	永 野	22	20	2
11月11日(金)	西大芦	30	28	2
11月11日(金)	清 洲	11	10	1
合 計		321	274	47



質問 議員報酬は高すぎるのではないかと。また、費用弁償のうち宿泊料が高すぎるのではないかと。

議会改革調査特別委員会の中で、鹿沼市の人口や他市の議員定数を注視しながら削減しました。今後も人口減少に合わせて他市の状況も勘案しながら検討していきます。

質問 議員定数・報酬について 平成27年より議員定数を26名から24名に削減したが、さらに削減を考えているのか。

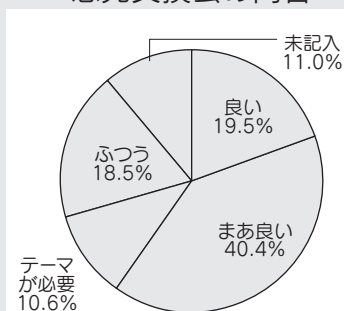
議会報告会・意見交換会では、議会の主な活動等を説明・報告するとともに、参加者からのご意見・ご質問にお答えしました。

政務活動費は、各会派へ前払いしていますが、残金が出た場合返納しています。また、収支状況をホームページで情報公開しています。

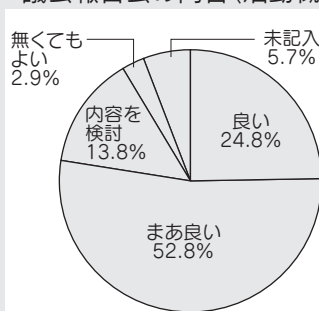
質問 政務活動費について 政務活動費の支払いは前払いなのか後払いなのか。また、情報公開されているのか。

議員報酬に対する見解に関しては個人差はありますが、他市と比べても決して高くはないと思います。また、宿泊料については、上限が記載されているだけですが、領収書は、議会事務局で閲覧が可能ですので確認していただければと思います。

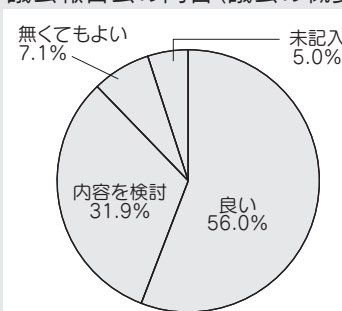
意見交換会の内容



議会報告会の内容(活動概要)



議会報告会の内容(議会の概要)



グラフで見る
議会報告会・意見交換会
アンケート結果

質問 政務活動費は充実しているのか。減額しているが議員活動をきちんと行っているのか、足りているのか疑問がある。

政務活動費は議員一人当たり年間30万円の支給ですが、大切な税金を使わせていただいているため必要なことに厳選して正しく使っています。今後もしっかりと市民のために議員活動ができるよう努めていきます。

■防災について

質問 大きな災害が発生した時、ボランティアの対応やその要請をしても、誰が采配を振るのか。

関東東北豪雨の際は、鹿沼市社会福祉協議会が中心となりボランティアの受け入れを行いました。市と社会福祉協議会の連携強化のため市の職員を社会福祉協議会へ派遣すること等が必要と考えます。また、重機を所有している人で災害時にボラン



ティアとして協力いただける人を登録し、災害時に活動してもらう制度を市へ要望しています。

質問 市の防災に対する予算配分はどうか。

地域総合振興型予算を新年度からスタートすると聞いています。この予算を地域の活性化や防災のためにも使えるよう市と話し合っています。

質問 近年、かなり災害に見舞われている。大地震などの対応を家庭で話し合っておくことや、また、地区の班内で、小さい子どもや高齢者を把握しておくことも必要である。非常時にどう判断するかを常に話し合っておくことが良いと思うので、情報などもしっかりと伝達してほしい。

災害への対応には自主防災会を強化する必要があります。班長や支部長と高齢者などの避難

方法等をしっかりと話し合い、情報をしっかりと伝え、共有できるようにしていきたいと思えます。そのためには伝達の訓練が必要と思うので、実施していきたいと思えます。

質問 市役所新庁舎の建て替えについて進捗状況が分らなかつた。詳しく状況を聞きたい。

東京オリンピック・パラリンピックの施設建設の影響で人件費や資材費など建設にかかわる費用が高騰しているため、市は落ち着くまで延期することを決めました。新庁舎は現庁舎の位置に建設費60億円を上限とし、できるだけ木造木質化に努め早期に整備する方針です。

議会としては、コストを抑えて設計するなど提言しています。



参加者の声 皆様から頂いたご意見の一部を紹介します。

議員からも参加者に提案、質問をしても良いのではないかと。

各年代で報告会を開いたら良いのではないかと。

事前に資料を配布した方が質問ができる。

議会の概要の報告があることで、議会の透明性が証明されると思う。

意見交換会は必要。ぜひ市民の声を反映してほしい。

議員の市政への真剣な考えや態度が伝わった。



**開かれた議会に！
来年度は8力所で開催予定**

広報広聴委員会
委員長 大貫 毅

「是非、私たち議会を鹿沼市民に広く知ってもらおう」という強い意志により、平成28年度は9地区で実施しました。皆様にはお忙しい時間にご参加いただき誠にありがとうございます。

議会へのご理解を更に深めて頂き、なおかつ身近な議会を実感して頂けたのではないかと思っています。

一方で我々議会も様々な課題を解決していかねばなりません。皆様から頂いた貴重な意見を参考にし、鹿沼市をより良くするために真摯に取り組んでいきます。平成29年度は8地区で開催予定です。今後ともより開かれた議会を目指して活動をパワーアップしていきたいと思えます。



市政を問う

小・中学生の学力について伺う



第5回定例会で17人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。



質問
今までの小・中学生の学力向上の取り組みについて示せ。
答 弁 (教育長)
学力向上アドバイザーの支援を受け、学力向上改善プランを作成し実践するなど、取り組みを行なっています。
本市では、各学校の実態に応じ、充実した教育活動ができるよう支援することを目的として、教育長や指導主事による学校訪問を計画的に行っています。今年度から各学校が計画した学力向上における組織的・重点的な取り組みに対し、研究授業を通

して子どもの学ぶ意欲・学習習慣、教師の指導力の視点から指導・助言を行っています。
また、平成26年度から2年間、文部科学省の委託事業である「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」を通して、小学校低学年からの学力向上に努め、今年度も実施しています。
更に、栃木県においては、平成26年度から「とちぎっ子学力アッププロジェクト」に取り組んでおり、3年間、市内すべての学校に学力向上アドバイザーが派遣されます。各学校は、学力向上アドバイザーからの学校

の検証改善サイクルの構築・運用に関する支援を受け、学力向上改善プランを作成し実践するなど学力向上に取り組んでいます。



平成29年度予算編成について伺う



質 問

平成29年度予算編成方針について、佐藤色の濃い予算編成が期待されるかどうか。また、一般会計の予算規模及び最重要事業について伺う。

答 弁(市長)

5大プロジェクトの一つである地域総合振興型予算を重点的に取り組んでいきたいと考えます。

平成29年度は、現在策定中の第7次総合計画の初年度に当たることから安定した財政運営を基盤として、将来にわたり持続可能な活力あるまちづくりに向けて諸施策を着実に推進し、結

果を出すことが求められています。そのため、事業の必要性や優先順位を見極めつつ、財源配分の効率化・重点化に努めながら、市民に約束した5大プロジェクトの早期実現に努めていきたいと考えます。

次に、一般会計の予算規模は、市税における税制改革の影響や普通交付税の合併による特例措置の段階的縮減を踏まえ、現段階では今年度当初予算と同規模の387億円程度と考えています。最重要事業については、現段階では、5大プロジェクトの一つである市民主体の地域づくりを応援する地域総合振興型予算



に重点的に取り組んでいきたいと考えます。

いちご市による今後の取り組みについて伺う



質 問

いちご市の市内外、県外へ向けての今後のPRについて伺う。また、花木センター内のいちご観光農園について伺う。

答 弁(市長)

PR戦略を充実させながら、農業の振興を図っていくとともに、いちご関連商品の開発等、プロモーションを推進していきます。

本市の営業戦略の指針となる「鹿沼シテイプロモーションガイドライン」では、イメージアップのためのシンボルを「いちご」、キャッチコピーを「いちごいちえ」、イメージカラーを「ベリーレッド」、そしてロゴマーク

等を設定し、シンボルキャラクター「ベリーちゃん」のさらなる活用を図っていきます。まさに「いちごづくし」の一貫したイメージ戦略を展開しているところです。今後は動画広告などを初めとするPR戦略を充実させながら、いちご農家の新規就農の拡大等により農業の振興を図っていくとともに、いちご関連商品の開発やPRなど、その取り組みに参画してもらえよう、プロモーションを推進していきたいと考えています。

間もなくオープンする花木センター内のいちご観光農園の愛称も公募した153点の中から、選考の結果「ベリーちゃんハウス」に決定しました。みんなに愛されるベリーちゃんの知

名度を生かし、愛くるしい姿と美味しいいちごに出会える観光スポットとして、子どもからお年寄りまで幅広い触れ合いと憩いの場になってほしいという思いを込めて採用しました。

これらのイメージアップを通して、海外の人々も含めた新たな交流人口及び情報交流人口を獲得し、より大きな経済効果を生み出すとともに、将来的な定住へも結びついていくことを期待しています。



大島 久幸 議員

「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録について伺う



質 問

①ユネスコ無形文化遺産登録の意義②考えられる波及効果について伺う。

答 弁(市長)

伝統文化の文化的価値を再認識し、地域の絆を一層強め後継者育成や地域力向上につながっていくことに意義があると考えます。

①については、去る12月1日、エチオピアで開催されたユネスコ無形文化遺産保護条約第11回政府間会議において、鹿沼今宮神社祭の屋台行事が全国33件の国指定重要無形民俗文化財の行事で構成される「山・鉾・屋台

行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。「山・鉾・屋台行事」の登録は、今まで継承されてきた伝統文化の文化的価値を再認識し、地域の絆を一層強めるとともに、後継者育成や地域力向上につながっていくことに意義があると考えます。

②については、文化面で世界的な評価を受けることで、祭りの担い手や市民がその価値と継承の必要性を再認識し、祭り自体の活性化や担い手の増加などに波及効果が期待できると考えます。観光面では、国内はもとより国際的な発信力が高まり、



外国人を含めた観光客の増加や滞在時間の長期化など、観光消費の拡大による波及効果が期待できると思われれます。今後も波及効果を高めるため、全国の祭りと連携し、積極的なPR施策を推進し、情報発信の強化に努めていきたいと考えます。

大貫 武男 議員

中心市街地の課題について伺う



質 問

①柳田商店跡地の活用②まちの駅「新・鹿沼宿」のさらなる充実を図る対策について伺う。

答 弁(市長)

将来的には物産館前テラス部分の拡大を検討していきます。

①については、第5次鹿沼市総合計画追加修正版策定の際に大型公共施設の見直しを行い、計画されていたお祭り館の整備や土蔵、店舗を活用した施設の整備中止を決定しました。現在は、まちの駅「新・鹿沼宿」の第2駐車場として位置付け、地元商店会も含めた利用を図って

きました。子供の遊びの場、若者の集いの場としての活用は、規模・立地・利便性等、様々な角度から検討を進めている最中です。当面は、既存施設の活用を優先的に検討していきたいと考えています。

②については、平成23年のオープン以来、毎年来場者が増加している状況で、物産館の売り上げも年平均で約15パーセントの伸びで推移しています。平成27年度には、物産館内のリニューアルを実施し、さらに平成28年3月には自動ドアに変更するなど、施設の改善を進め、来場者の利便性を図っています。



▲まちの駅「新・鹿沼宿」物産館

今後、さらに顧客満足度を高め、来場者数を維持・確保していくためには、商品数を多く揃えることも必要であり、将来的には物産館前テラス部分の拡大を検討していきます。

鈴木 毅 議員

都市計画法について伺う



質 問
用途地域について、茂呂地区の工業専用地域の見直しを図るべきと思うがどうか。

答 弁（都市建設部長）
目指すべき市街地像に変化が見られ、関係権利者の合意が図られるのであれば、見直しを検討していきたいと考えます。

茂呂地区の工業専用地域の見直しは、平成26年4月に地権者25名の方から「用途地域の見直しを求める陳情書」が市長及び市議会議長あてに提出され、市では座談会を2回開催し、陳情者の方々と意見交換を行いました。

本地区について、鹿沼市都市計画マスタープランでは、都市基盤を整備し、住居環境に配慮しつつ、工業系土地利用への誘導を図る地区として位置付けており、現在市道0328号線の雨水対策を含めた道路改良を進めています。また「新産業団地整備基本計画」では、中小規模の工場や事務所を誘致するエリアとして整理しています。

今後、公共施設の整備が進み、目指すべき市街地像に変化が見



られ、かつ関係権利者の合意が図られるのであれば、一部見直しを含め、用途地域の見直しについて検討していきたいと考えます。

小島 実 議員

豊かな自然環境の保護について伺う



質 問
今回の横根高原開発計画に対し、市ではどのような措置を講ずるのか。また、県の対応措置について伺う。

答 弁（市長）
大規模開発は適さないと考え、「規制の措置」に向け条例化やガイドライン化に取り組んでいます。

横根高原開発計画について、現時点では市の総合計画や個別計画との整合性が図られないことや、栃木県立自然公園内でもあること、この区域は手つかずの自然に恵まれ、生物多様性のある貴重な地域であり引き続き

保全が必要なため、そのような大規模開発は適さないと考えています。現在、これらの事案に対し、県に相談するとともに、ガイドラインの策定を要望しており、本市としても環境基本条例第10条に基づく「規制の措置」に向け、条例化やガイドライン化に取り組んでいます。

平成24年7月の再生可能エネルギーの固定価格買取制度導入以来、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園に大規模太陽光発電施設の設置が進められています。環境省では、国立・国定公園内における大規模太陽光発電施設設置についての処理基



▲横根高原

準等の整備を進め、施設の新築・改築・増築にかかわる措置命令等の新たな措置基準も追加する予定と聞いています。県においても、国の指針に沿って必要な対応をしていく考えであると伺っています。

読書推進について伺う



質 問

本市の図書館のあり方について①登録者数（平成25～27年度の推移）②展示ホールの有効利用について伺う。

答 弁（教育次長）

年間を通して計画を立て、図書館利用や読書啓発等につながるような展示を心がけています。

①については、個人利用者と団体利用者の合計は、平成25年度5万553人、平成26年度5万2千227人、平成27年度4万4千3人です。平成27年度に大幅に減っているのは、「10年以上利用していない」等の利用者の登

録を年次更新などで削除したことによるものです。

②については、年間を通して企画を立て、図書館利用や読書啓発などにつながるような展示を心がけています。今年度は「読書感想画展」や「環境展」「ヘルマン・ヘッセ展」などの他、9つの展示を実施しました。また、図書館ボランティアに活動内容を紹介してもらう展示なども行い、ボランティア参加者の普及拡大に役立てるよう努めています。

今後も館内展示により、読書活動などの普及に努めるとともに、市民が快適に図書館を利用



▲鹿沼市立図書館展示ホール

できるようなスペースの有効活用に取り組んでいきます。

成年後見制度について伺う



質 問

成年後見制度の活用促進について伺う。

答 弁（保健福祉部長）

出前講座及び研修会の開催などを通して市民への制度の活用促進等に努めています。

本市における認知症のある方については、平成27年度の介護保険要介護認定者4千701人のうち、2千619人が認知症と診断されています。知的障がいのある方については平成28年4月1日現在、療育手帳の交付者数は942人で、精神障がいのある方については、精神障害者福祉手帳の

交付者数は697人です。

障がい者のほか、認知症高齢者の増加が見込まれることから、地域包括支援センターや社会福祉協議会等が関係機関と連携を図り、総合相談・支援を初め、市ホームページの活用やまちづくり出前講座及び研修会の開催などを通して、市民への制度の周知、啓発、活用促進に努めているところです。今後も様々な機会を通して、制度の周知等を図ってまいります。

また、制度を利用する必要があるながら、家庭裁判所への申し立てができる親族がいない場合や後見人が選任されても後見

人報酬の支払いが困難な低所得者に対し、成年後見制度利用支援事業として、市長申し立て及び後見人への報酬助成を実施しています。

成年後見制度とは

認知症や知的障がい、精神障がい等の理由により、判断能力の不十分な方の財産管理や契約行為について保護・支援する制度です。

成年後見制度には「法定後見制度」と「任意後見制度」があり、「法定後見制度」は本人の判断能力のある順に「補助」「保佐」「成年後見」の3つに分類され、本人の事情に応じて家庭裁判所が「補助人」「保佐人」「成年後見人」を決定しています。

石川さやか 議員

鹿沼市の保健事業について伺う



質 問
乳がん、子宮がん検診受診率向上の取り組みについて伺う。

答 弁（保健福祉部長）
平成29年度から女性のみの検診を年2回実施する予定です。

本市の各がん検診の受診率は、乳がん検診は平成25年度30.1%、平成26年度29.8%、平成27年度30.3%、子宮がん検診は平成25年度32.5%、平成26年度30.4%、平成27年度29.6%です。受診率の高い自治体に共通する取り組みの例としては、1つに地域の保健推進員等が検診申込み用紙の配布と回収を行うなど、地域の隅々ま

できめ細やかな対応をしていること。2つに検診を無料にするなど、経済的負担を軽減していることなどが挙げられます。さらに、受診率の高い市町は毎年検診を実施しているところが多く、受診できる対象者数が多いことも原因のひとつと考えられます。また、女性のみの検診日の設定があることなども要因のひとつとなっています。

本市においても、レディースデイと称して、女性のみの検診を平成29年度から年2回実施する予定です。託児付きにするこ



とで子供のいる受診者の利便性を向上させることも考えています。さらに、骨粗しょう症予防検診等の各種検診を同時に行う予定であり、各種検診の受診率向上も目指します。

阿部 秀実 議員

図書館・学校図書館について伺う



質 問
平成26年度から指定管理者制度を導入している図書館東分館について、運営コストやサービスの質に変化はないか伺う。

答 弁（教育次長）
おおむね順調に運営されていると考えています。

東分館は「シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社」を指定管理者としており、協定期間は、平成26年度から平成30年度までの5年間で、今年度は3年目となります。

運営コストは、指定管理委託料が3千456万円で、導入前より996万4千632円減少しました。

サービスについては、通常の図書館業務に加え、子育て世代が多い地域のため、児童書の蔵書率40%以上を維持することや、子育て支援コーナーに関連情報の提示を行うなど子育て支援業務を実施しています。また、指定管理者側からの提案により、毎週水・木・金曜日の午前中に保育士を配置して子育て支援活動を実施しており、平成29年度からは、日数と時間を拡大して事業を実施する予定です。

本市では、指定管理者と毎月定期的に打ち合わせを行う他、事業実施の際に適宜打ち合わせを行うなどコミュニケーション



▲図書館東分館（ほんのす）

を図っており、おおむね順調に運営されていると考えています。

森林・林業・木材産業の活性化について伺う



質 問
森林認証材としての鹿沼産材の普及・拡大の取り組みについて伺う。

答 弁(市長)
来年度の実施に向けて、木造住宅の建設に対する補助制度を検討しています。

鹿沼産材の需要拡大につながる本市独自の取り組みについては、現在木造住宅の建設に対する補助制度について、来年度からの実施に向け検討をしています。補助の仕組みは、鹿沼産材を一定数量以上使用した木造住宅を対象とし、森林認証材を使用した場合は、さらに上乗せを

行うといったもので、鹿沼商工会議所及び栗野商工会が発行している共通商品券の交付を考慮しています。補助の効果としては、鹿沼産材、特に森林認証材の認知度アップと需要拡大や林業・木材産業の活性化、商品券の利用による地域経済への波及などがあり、本市の定住促進にもつながるものと期待しています。

また、これまでの取り組みは、友好都市である足立区や墨田区のイベントでの「木のまち鹿沼」のPRや、港区の「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」に参画し、「間伐材をはじめとした国産材の活用促進に関する協

定」を締結しています。なお、足立区では、本年6月に「足立区公共建築物等における木材利用推進方針」が策定され、本市を含めた友好都市の木材の優先的な利用が示されるなど、これまでの交流やPRが成果として表れてきています。



市政の長期ビジョンと成長戦略について伺う



質 問
財政投資及び成長戦略について伺う。

答 弁(市長)
今後4年間の財政措置は、現段階で5億5千万円の支出を見込んでいます。

5大プロジェクトなどへの財政投資の金額と想定する効果ですが、今後4年間における財政措置は、現段階では第7次総合計画の策定中、試算の段階で、具体的な事業実施に当たっては、毎年度の単年度計画策定の際に精査していくこととなります。その上での現段階での積み上げ額ですが、主な分野として

「鹿沼産の利用促進」では、森林認証の拡大や新築補助などで4年間6千6百万円を見込んでいます。効果は、森林認証材の年間出荷量を現在の3万5千方メートルから3万8千方メートルに増やし、累計で6千立方メートル、額にすると7千8百万円の増加を目標としています。農業振興の分野では、「農産物の生産振興」として4年間で5千9百万円を見込んでいます。効果は、いちごの年間出荷額を現在の約19億9千万円から約20億4千万円に増やし、累計で約9千万円の増加を目標としています。雇用創出に向けては

「企業誘致の推進」として4年間で3億8千万円を見込んでいます。効果は、約200人の雇用と製品出荷額で年間約39億4千万円の増加を見込んでいます。



鯨原 一男 議員

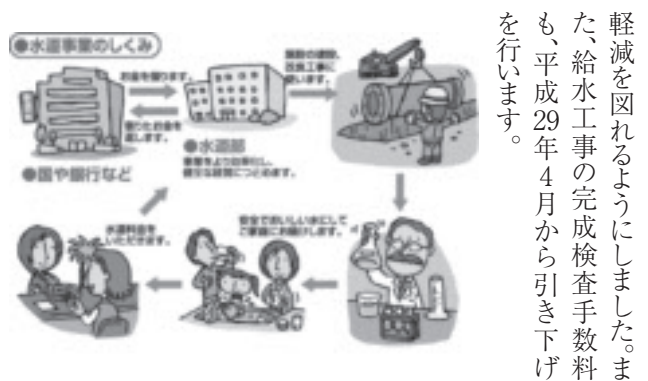
谷中 恵子 議員

水道事業統合について伺う



質 問
長期財政計画について伺う。
答 弁 (水道部長)
平成29年度に「経営戦略」の策定を予定しています。

長期収支と料金改定については、上下水道の統合に合わせ、平成29年度に一部基本料金の引下げを予定していますが、現状の経営状況からは当面は収支の均衡が保てるものと考えています。料金改定については、「経営戦略」を踏まえて検討していくことになります。

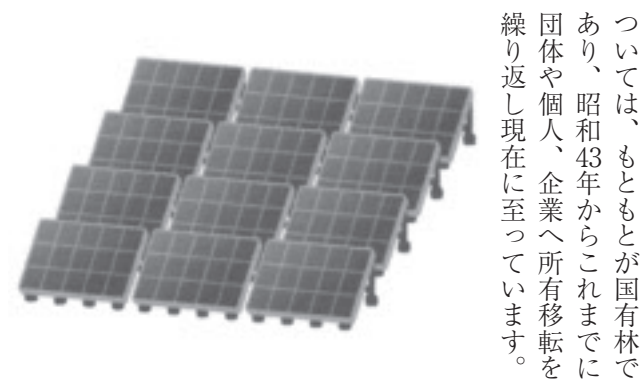


太陽光発電施設建設計画について伺う



質 問
太陽光発電施設建設の計画について伺う。
答 弁 (総務部長)
前日光県立自然公園内に約107ヘクタールの太陽光発電施設を設置するものです。

きは、本市の「土地利用事前相談」を経て、栃木県の「土地利用に関する事前指導要綱」に基づく「土地利用協議」を行い、県による審査を受け、事業者が個別法の申請等を行った上で事業を実施することになっています。本件については、本市の「土地利用事前相談」の段階ですが、仮に通過した場合、許可要件として想定されるのは、森林法に基づく「林地開発許可」であり、森林の公益的機能を阻害しないよう一定の条件を満たせば開発が許可されることになります。



大貫 毅 議員

木育の推進について伺う



質 問

① NPO法人日本グッド・トイ委員会が推進している「ウッドスタート宣言」を行ってはどうか。

② 学校、保育園などの公共施設の室内空間の木質化を進めてはどうか。

答 弁（経済部長）

鹿沼市版の「ウッドスタート」についても検討していきたいと考えます。

① 「ウッドスタート」について、木育の始まりとして赤ちゃんが最初に出会うおもちゃを木でつくりプレゼントする素晴らしい取り組みであり、木材の地

産地消にもつながる事業です。現在、鹿沼市花木センターの改革の中で出産祝いプレゼントを

検討しており、鹿沼市版の「ウッドスタート」についても検討していきたいと考えています。

② 学校施設における木造や木質化は、快適性を高めるためだけでなく教育上の効果も期待できるため、校舎や屋内運動場等を整備する際には積極的に取り組んでいます。本年度は、地域子育て支援センター「にっこりサロン」で木製のおもちゃを借り上げ親子で木に触れ合う企画を実施し好評を得たため、今後は保育園においても新たな木製

の遊具やおもちゃなどの導入も検討し、子供たちが木と触れ合える機会を増やしていきたいと考えています。



▲にっこり保育園の内観

佐藤 誠 議員

鹿沼こんにゃくにゃくにゃについて伺う



質 問

食品業界の「糖質制限」ブームを好機とした「鹿沼こんにゃく」の振興への取り組みを提案する。

答 弁（経済部長）

特産品の新たな商品づくりに取り組んでいければと考えています。

鹿沼こんにゃくは、本市の特産品としてかぬまブランドにも認定され、広く市民に親しまれています。友好都市等のイベント時にも毎回販売しており、首都圏近郊の住民にも非常に好評でリピーターも多く、「鹿沼こんにゃく」は知名度も広まって

いると実感しています。

今年から、屋台のまち中央公園の観光物産館内にオープンした「おこんにゃく茶屋」では、創作のコンニャク料理を提供しており、来客にも大変好評です。

本市は、コンニャクの他、イチゴやニラ、トマトなど、内外に誇れる農産品が多種多彩であり、生産の振興はもとより、農工商連携や6次産業化を推進する上でも、これらの恵まれた資源を活かした特産品の新たな商品開発の促進が必要であると認識しています。

今後は、市民や関係業界、団体等との協力体制を構築しながら、市内外に流通できるように、新たな商品づくりに取り組んでいければと考えています。



▲鹿沼こんにゃく

人事

(敬称略)

■本会議で人事が決まりました。

人権擁護委員

金子 和之 (かねこかずゆき・加園)

▶用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、日本各市町村に設置される非常勤職。法務大臣が委嘱する民間のボランティア。任期は3年で、再任も可能。給与の支給はないが、職務を行うために要する費用の弁償を受けることができる。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。

請願・陳情の結果

定例会で審査した請願・陳情の結果は次のとおりです。

■請願第1号 城山公園に猪捕獲箱設置に関する請願

採 択

■陳情第1号 「幸町1丁目公園」の設置に関する陳情

一部採択

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請 願 書	件名 ○○○○について 要旨 ○○○○の△△に関する ××を要望します。 理由 □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□。
紹介議員 今宮 三男 氏 名 鹿沼 太郎	平成○年○月○日 鹿沼市議会議長様 請願人代表 鹿沼市○○町○○番地○ 鹿沼 太郎 (印)

意見書の提出

議員案として可決し関係機関に送付しました。

■議員案第7号 「森林・林業基本計画」の推進を求める意見書の提出について

森林資源の循環利用の確立をはじめとする森林・林業施策の推進、平成29年度予算概算要求で計上された予算額の確保等について、具体的な進展が図られるよう、国会及び政府に対し意見書を提出し、下記事項を実現するよう強く要望します。

1. 「森林・林業基本計画」に掲げる施策の推進に向け、平成29年度予算概算要求で計上された予算額の確保を図ること。また、地球温暖化防止森林吸収源対策の推進については、安定財源の確保に係る新たな仕組みとして検討されている「森林環境税(仮称)」の早期実現を図るとともに、「地球温暖化対策のための税」を活用した木質バイオマスエネルギー等の利用に係る予算の拡充、森林吸収源対策として措置された地方財政措置の拡充を図ること。
2. 森林資源の循環利用確立に向け、国の責務として確実な再造林を図るため、鳥獣害対策も含めた公的補助の拡充を図ること。あわせて、苗木の安定供給に向けた施策の拡充を図ること。
3. 林地の集約化、森林経営計画策定の促進に向け、市町村への林務担当職員の配置、人材育成に向けた国の支援策を講じるとともに、国の職員による技術的な支援を行うこと。
4. 地域材の安定供給体制の確立に向け、原木のとりまとめは、流域単位の川上から川下等の関係者及び、官民連携による協議会方式を基本とし、安定供給、需要調整、販売をコーディネートする組織・人材の育成を図ること。また、地域材利用促進については、公共建築物の木造化、中高層建築物等へのCLTの利用拡大等、これまでの対策を一層促進させるとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック関連施設への地域材の利用促進と森林認証・認証材の普及拡大に向けた対策を図ること。
5. 「山村振興法」の基本理念、附帯決議に基づき、山村地域において雇用の拡大・改善を行う企業に対する支援措置を講じる等の具体的施策の確立を図るとともに、地域振興・地域林業確立の観点から、国等の発注する事業については、地域の事業者が優先的・安定的に受注出来る発注方式に変更すること。また、林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充、労働安全対策をはじめとする就業条件改善に向けた対策の強化を図ること。
6. 条件不利地域など適正な森林整備が進まない森林については、水源林造成事業等による公的森林整備の拡充を図るとともに、事業の長期的・安定的な実施に向けた体制の確立を図ること。また、経営意欲の低下した所有者の森林、不在村所有者森林など、林地集約の支障となっている森林については、地方公共団体による公有林化の促進に向け、全額国費による助成措置を講じる等、支援の強化を図ること。

提出議案について
議員の賛否を公表

市長提出議案28件、議員提出議案 1 件が提出されました。
議員数24名、表決参加議員数23名（議長は表決には加わりません。）

賛否の分かれた議案

議案99 鹿沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部改正

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、市議会議員の期末
手当の額を引き上げるためのものです。



賛
成

【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄
【自民党】 鈴木 毅・市田 登・谷中恵子
津久井健吉・増淵靖弘・鵜原一男
赤坂日出男・橋本正男
【経世会】 館野裕昭・小島 実・湯澤英之・関口正一
【民主党】 島田一衛・大貫 毅
【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸
大貫武男・船生哲夫
【日本共産党】 阿部秀実
【無所属】 石川さやか

反対

【無所属】 佐藤 誠

全議員が賛成した議案（可決）

平成28年度補正予算

議案74 平成28年度鹿沼市一般会計補正予算（第2号）
予算総額を406億8,158万8千円とします。

議案75 平成28年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
予算総額を133億2,747万7千円とします。

議案76 平成28年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算（第2号）
予算総額を25億720万円とします。

議案77 平成28年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計補正予算（第2号）
予算総額を2億7,692万5千円とします。

議案78 平成28年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算（第2号）
予算総額を75億544万5千円とします。

議案79 平成28年度鹿沼市水道事業会計補正予算（第1号）
収益的支出は支出総額を684万2千円増額、資本的支出は支出総額を76万3千円増額に補正をするものです。

施設の設置

議案80 日光市による水道施設の設置
日光市が本市板荷の区域内に水道施設を設置することにより、平成29年4月から、同区域の一部に水道水を供給することについて協議を行うためのものです。

指定管理

議案81～86 指定管理者の指定
やまびこ荘、千寿荘、高齢者福祉センター、鹿沼市リサイクルセンター、鹿沼市民文化センター、市営住宅グループ

市道路線

議案87 市道路線の認定
議案88 市道路線の廃止
議案89 市道路線の変更

条例の制定

議案94 鹿沼市農業委員会委員及び推進委員の定数を定める条例の制定
議案96 鹿沼市水道事業の水道技術管理者の資格等を定める条例の制定

条例の一部改正

議案90 鹿沼市職員の退職手当に関する条例の一部改正
議案91 鹿沼市税条例等の一部改正
議案92 鹿沼市手数料条例の一部改正
議案93 鹿沼市国民健康保険税条例の一部改正
議案95 鹿沼市水道事業の設置等に関する条例及び鹿沼市水道事業給水条例の一部改正
議案97 鹿沼市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
議案100 鹿沼市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正
議案101 鹿沼市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事

議案98 人権擁護委員候補者の推薦
(13ページをご覧ください。)

議員提出議案

議員案 7 「森林・林業基本計画」の推進を求める意見書
(13ページをご覧ください。)



常任委員会の行政視察

総務常任委員会

- 11月15日 香川県 高松（たかまつ）市
「地域行政組織再編計画」
- 11月16日 岡山県 玉野（たまの）市
「玉野市公共施設の再編整備等の方向性」

高松市の地域行政組織再編計画の取り組みについて
組織や機能のほとんどが本庁に集約されている現行体制を見直し、市民により身近で幅広い行政サービスを提供できるよう、現状の二層構造方式における「本庁一支所・出張所」組織を再編し、「本庁—総合センター（仮称）—地区センター（仮称）」の三層構造への移行を目指しています。特に、総合センターには地域包括支援センター、保健センターが配置され、福祉サービスの窓口の充実が図られています。高齢者や本庁への交通手段が限られる遠隔地の市民の利便性にも配慮された、支所や出張所の再配置のあり方として大変参考になりました。



環境経済常任委員会

- 11月15日 福岡県 筑後（ちくご）市
「観光振興」
- 11月16日 福岡県 福津（ふくつ）市
「6次産業化の取り組み」

福津市の6次産業化の取り組み（あんずの里）について
「あんずの里市」は、平成8年女性30人が発起人となり「軽トラ市」を展開し、その後常設直売所作りに発展しました。形に固執せず、仲間組織を新たに起こし、農家であるなしにかかわらず誰でも生産者になり売り上げに貢献できる仕組みを作ったことにより出荷者数・売り上げ共に4倍になり、来客者数は11万人から40万人へと拡大しました。農水産業と花卉、果樹、レストランがバランスよく配置され、市民生活を確実に潤し、また市民に愛される場所となりました。主体である生産者農家と行政がしっかりとタッグを組んで取り組む姿勢と努力が伺えました。



文教民生常任委員会

- 11月15日 広島県 三原（みはら）市
「小中学校の適正配置」
- 11月16日 山口県 山口（やまぐち）市
「地域づくり交付金事業」

三原市の小中学校の適正配置について
平成22年3月に「三原市立小中学校適正配置実施計画」を策定・公表しました。平成22年4月以降、地元説明会の開催後に統廃合校ごとに準備委員会を設置し、統合場所等の具体的な協議を開始し、現在までに小学校14校の統廃合が実施されています。教育委員会の教育の視点からの施策を市長も深く理解しており、行政主導の統廃合を積極的に推進し、現在まで順調に進めています。この視察研修を十分参考にしながら、鹿沼市にふさわしい小中学校の適正配置のあり方を検討していきたいと思えます。



建設水道常任委員会

- 10月19日 新潟県 上越（じょうえつ）市
「立地適正化計画の策定」
- 10月20日 石川県 金沢（かなざわ）市
「金沢市集約都市形成計画」

上越市の立地適正化計画の策定について
平成27年に策定された「上越市都市計画マスタープラン」では、「量的拡大から質的向上にまちづくりの考え方の転換を図り、市民が日常生活の中で満足感・充実感をもって暮らすことができる持続可能な社会を目指す」との理念が示され、その具現化を図るための施策として「上越市立地適正化計画」が位置付けられ策定が進められています。将来のまちづくりのビジョンを住民と共有し、長い年月をかけて理想のまちを目指す取り組みであると感じました。



議会からの お知らせ

足立区議会写真展に出展しました。

平成28年12月12日から21日まで、足立区議会写真部作品展が足立区役所中央館1階アトリウムで開催されました。特別参加として、鹿沼市議会の議員7名が20点の力作を出展しました。来庁者も作品の前で足を止めて、鑑賞していました。鹿沼市と足立区とは平成4年に友好都市を提携し、市議会も区議会と様々な交流を続けています。



議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

2月	3月					
月	火	水	木	金	土	日
2/20	21	22	23	24	25	26
10:00 議会運営委員会						
27	28	3/1	2	3	4	5
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明						
6	7	8	9	10	11	12
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	13:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問		
13	14	15	16	17	18	19
予備日		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会			
20	21	22	23	24	25	26
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決				

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

本会議の動画を配信しています。

動画配信サイトYOUTUBEで本会議の映像を録画配信しています。鹿沼市ホームページの「市議会」バナーより入り、ご覧になりたい内容をクリックしてください。



表紙の写真は

鹿沼の彫刻屋台は平屋の館型（やかたがた）で、その構造は、四輪を内車形式（車輪の位置が土台の台輪の間にある）に付け、台輪に八本柱を立てて唐破風の屋根を載せたもので、棟は箱棟になっています。内部は踊り場と内室に区別され、内室には囃子方（はやしかた）が入ります。

平成29年1月5日、橋本正男議員が逝去されました。

橋本議員は、平成11年9月に市議会議員に初当選され、常任委員会の委員長、市監査委員、平成23年には副議長を歴任し、市政発展にご尽力されました。

一昨年9月の市議会議員選挙では、5期目の当選を果たし、新たに農林業活性化特別委員会の委員長に就任し、調査・研究をしているさなかの急逝でした。

ここにそのご功績を偲び、慎んで哀悼の意を表するとともに、ご冥福をお祈りいたします。



故 橋本正男議員



鹿沼市議会